

「第26代 執行部 基本姿勢」

スローガンを「継承・変革・革新・」とさせて頂きました。

サブタイトルは～飛び立つ時は向かい風～ です。

変化する時、新しいことに挑戦する時、つまり飛び立つ時は向かい風を受けます！

しかしそこを越えなければ飛び立つ事は出来ません。

変革⇒改めること

革新⇒制度変えて新しくすること

継承⇒受け継ぐこと

継承

継承すべきは「SPC三象三しん哲学」であり「理念」「基本軌道」です。

理念に「職業の利益追求以前に人間形成と仲間作り」とあります。基本軌道には「一人の仲間を労わることを全てとする」とあります。利益を越えて仲間づくりをすることが自己成長に繋がると説いています。つまり「損得に負けない自分づくり」です。具体的な勝ち・負けの気持ちを持ちながら仲間作りは出来ません！「勝ち負けに負けない自分作り」です。懸命に組織活動をしていると、不合理だと思うことも有ります。つまり損得・勝ち負け・不合理に負けない人間にならなくては、一人の仲間を労わることなどは出来ません。もし、人類全てが「一人の仲間を労わることをすべて」としたら奇跡が起きます。ですから世界がSPCを待っているのです！実践は困難ですが、困難だからこそ皆さんと共に挑戦します。

変革・革新

- ① 基本的に組織は2年で再編成されます。そうすることで偏った組織にならないメリットはあります。しかし、具体的なものを積み上げることが困難である現実もあります。そこで、「経営強化」と言われている経営・営業・教育については一本化したいと考えています。これまでのように2年間で再編成すると2年ごとにゼロスタートとなり、成果が求めにくい面がありました。ですから経営強化として4名選出してその内の1名が次期も担当して次にバトンを渡す、そして次も担当する者を決めて繋ぐ、そうすれば横積みの知恵を縦積みに変えていくことが可能です。
 - ② 役職数と役職を受けられる人数のバランスが悪いことで、複数の役職を受け持つ場合が多く、本来は皆さんの役立つ為の様々な事業が、単に運営することが目的となり「やらされ感」を感じる場合があります。今期は統括では組織・経営強化と継続事業部を含めて最小では9名の役職・本部では最小4名の選出にします。これまでのように役職が多いことを理由にせずに主体的に参加できる、活躍できる、各部の部長に期待します。
- 2
- ③ 選挙の在り方にも変化が必要だと思えます。これまでは、各地の会長選挙が終わった後で理事長が選出されています。これは仲間づくりの観点から、誰がなろうともお互いに協力することが自己成長につながるという、素晴らしい考えだと思えます。しかし、結集力を高める為には理事を選出した上で各地の選挙を行うべきだと思います。又、5人に一票の投票権は組織票に成り易く、個人の意思が尊重されないために参加意識や責任感が損なわれる場合もあると思えます。
- ですから何らかの規約を設けた上で責任のある一票を投じる全員参加型の選挙に革新して行きます。